

FIG2013アブジャ大会は、5月6日～10日の日程でナイジェリア アブジャのNicon luxury hotelで開催された。約40ヶ国、2,000名の参加者があった。今年の大会はアフリカのテロ多発地域での開催ということもあり、例年に比べて国際的な参加が少なかった。ナイジェリア国内からの参加者が大半をしめ、ナイジェリアの熱気が伝わる会議であった。ナイジェリアのアブジャは、20年程前にナイジェリアの首都になった新興の街である。幹線道路は概略出来ているが、全体の都市計画はいまだ整備途上という感じである。建設中のビルが多くみられ、経済成長中の国という印象をうけた。ナイジェリア国内からの参加者は、みな民族衣装の正装で中間富裕層が多くいるという感じだ。



アブジャ大会の開かれたホテル

1) 総会

総会は FIG の最高議決機関である。通常は FIG の会長、副会長、委員長人事が行われるが、今回は投票を伴う人事や開催地の選出はなかった。

FIG の会員については、昨年からの新規会員は無く、会費未納によりアルジェリア、ブラジル、アルバニア、エチオピアの会員が除名され会員数は 99 となった。また学会員については新たに 5 機関が認められたが、4 機関が会費未納で除名され、学会員数は 91 となった。以下議題となった項目を示す。



オープニングセレモニー



総会での会長、と副会長



総会の出席者



代表団席にて



各国の会長が集まるプレジデントミーティング(右から6番目筆者)

1 開会

CheeHai Teo 会長による開会宣言

2 点呼

Rudolf Staiger 副会長による出席会員の点呼

3 投票集計係任命

4 議題の採択

5 第33 回総会議事録の承認

6 新規会員の承認

新規会員なし

会員の除名（会費未納3年）： 4 会員

現在の会員数99

新規学会会員の承認： 5会員

除名（会費未納3年）： 4 会員

現在の学会会員数：91

7 FIG 会長報告

8分科会報告

9タスクフォースの報告

10 FIG 常設機関の報告

11 FIG 財団の報告

12 国連、世界銀行との協力についての報告

13国際的測量専門機関との連携

14 FIG 2013－2014 年予算書

15 2013 年会費

16 2017年FIG大会開催地について

2014年マレーシアで決定

17 2016年クライストチャーチからの準備状況報告

18 2015年ソフィアからの準備状況報告

2) 全体集会

プレナリーセッション（全体集会）は、7日、8日、9日と3回開かれた。全体集会1のテーマは、管理手法、全体集会2のテーマは、テクノロジーとシステム、全体集会3のテーマは、専門性と能力開発ということでそれぞれに基調演説が行われた。

3) 技術講演会

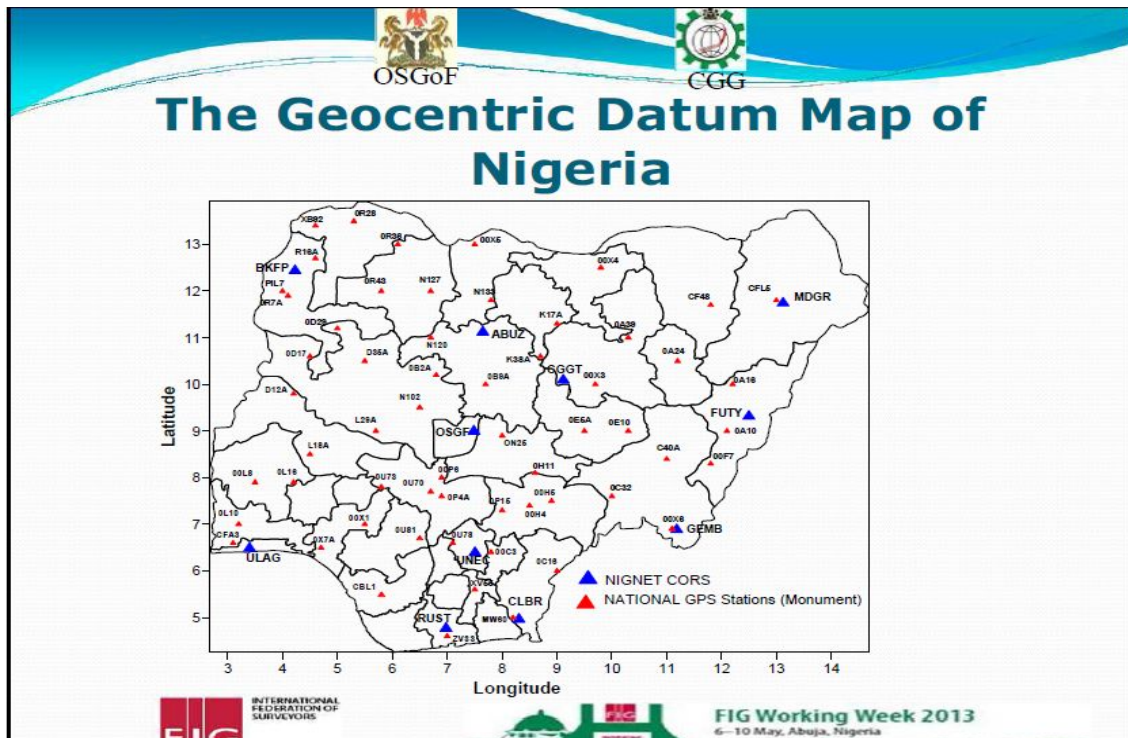
講演会には全部で200篇程の論文が提出された。今回は海外の出席者が少なくナイジェリアの国内大会かという雰囲気であった。ナイジェリアの測量事情探検と云うつもりでいくつか覗いてみた。

そのひとつが、ナイジェリアの測量原点を作ったという話。国内GPS連続観測点CORSを10点、その他60点程の旧三角点でGPS観測を行い、ITRF2008座標系を採用して、原点を決めたようである。CORSの設置間隔は、およそ500km程度である。19世紀の植民地時代に作られた測地座標系をようやくGPSを使って2012年にグローバルな座標系に置き換えたということである。新生ナイジェリアの息吹が伝わってくる気がした。





技術講演会の様子



ナイジェリアの CORS

も一つナイジェリアらしい発表。

ナイジェリア南部地域で旅行産業の手助けのために、ハンドヘルド GPS と GIS を組み合わ

せて新規に旅行プランを作るという試みを行っていた。ツアーを試験的にこしらえるという試みである。まだ観光地という概念がないため、GIS で模擬的にツアーを作り、これから旅行業を発展させようという新興国ならではの発表である。ナイジェリアは石油に恵まれ高い経済成長を続けている国である。ツアーもモデルプランが出来れば、外国からも人が呼べさらに経済にも貢献が期待できるのであろう。

4) 展示会

会場の入り口周辺では、展示会が開かれていた。FIG のスポンサーを下りたトプコン、ソキア等の日本製品も展示されていた。



展示会の様子

(5) ソーシャルイベント

大会中には、参加者の懇親のために 7 日のウエルカムレセプションや 9 日の gala dinner が用意されていた。ウエルカムレセプションは、ホテルのプールサイドで開催された。FIG の会議で常連になる顔触れと再会を喜んだ。gala dinner は、国際展示場で開催された。



ウエルカムレセプションで常連のオーストラリアの代表、ギリシャの副会長、イスラエルの第3分科会委員長（左から）、と再会を喜ぶ。





Gala dinner で同席した参加者、米国、マレーシアの代表と FIG 事務局メンバー

(6) 最後に

ナイジェリアの経済成長率は 2005 年以降毎年 6%程度である。石油資源にめぐまれている国である。高額の会議参加費を払い、フォーマルドレスに身を包む中流層が沢山いる。街を歩くといたるところで建設中であり、活気にあふれている。測量関係機関もいくつか見せてもらったが、新しい建物とコンピュータに包まれた新生ナイジェリアとの様子が伝わってきた。来年はアジアのマレーシア大会である。FIG 新会長の選挙も行われる。マレーシアの招致委員会も JFS の役員会に合わせて日本にプロモーションに来たいと言っている。日本からも近いので是非多くの人に参加してもらいたい。



アブジャの市場



来年の FIG 大会が開催されるマレーシアの測量者連盟会長（Mohammad Azmi Mohd Zin 氏：右）へ大会旗が渡される。